

【会議録】

会議名	第3回会計制度改革推進支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和7年12月17日（水曜日）午後2時から
開催場所	区役所10階入札室
委員	<p>会計管理者 西川 克介（委員長）</p> <p>企画経営部財政課長 江村 信行（副委員長）</p> <p>企画経営部区役所改革担当課長 星川 健夫（委員）</p> <p>総務部情報政策課長 菊池 太佑（委員）</p> <p>街づくり支援部土木管理課長 三石 貴史（委員）</p>
事務局	会計室公会計改革担当、会計管理係
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 第二次審査（プレゼンテーション及び質疑応答）の実施について</p> <p>3 第一次及び第二次審査結果に基づく総合評価による事業候補者の決定について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
配付資料	<p>[席上配付]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 第二次審査進行スケジュール ・ 資料2 第二次審査の実施等に関する留意事項 ・ 資料3 採点基準表（第二次審査）A事業者 ・ 資料4 第二次審査結果・総合評価表（※採点終了後、机上配布）
会議の結果及び主要な発言	
（発言者）	【1 開会】
B委員	<p>【2 第二次審査（プレゼンテーション及び質疑応答）の実施について】</p> <p>（1）A事業者プレゼンテーション・質疑応答</p> <p>港区財政レポートの改善点をお考えいただいているということですが、具体的な事例を挙げてお示してください。</p>
A事業者ア	<p>いわゆるセグメント分析という点で、すでに事業別の記載が財政レポートにあるのですが、この中ではいわゆる行政コスト計算書などの数値に対しての増減などの事実が記載されております。この部分をうまく行政評価の目標値などに関連づけて、例えば、区民の声の中で要望が多かったものを示し、それをもとにその事業には人員、予算がどれだけ必要なのか、歳出可能な予算の限度額に対して、実現可能かを割り出していきます。提案の補足の中で、</p>

【会議録】

	<p>駐輪場の整備の例をあげていますが、実際に違法駐輪が減ったという事実と紐づけていきます。紐づけていくと政策が結果的にアウトプットして結びついたこととなります。また、コストがこれだけかかっているが、この施策をこのまま続けてもよいのか、というところまでつながりを見える化していくことで、改善の余地を見出すことができます。例えば、警察組織が、交通事故を減らすために信号機を増設する例を挙げると、アウトプットは信号機の台数を増やすこととなりますが、目標はあくまで交通事故を減らすことです。台数を増やしたからといって交通事故が減るわけではありません。このように目標を誤ってしまうと本来の政策の趣旨につながっていないこととなりますので、つながりを意識して財政レポートに反映させていきます。現在、こうした記述はないように思いますので、かなり進んだ団体の取り組みとなります。また、ロジックのつながりが不十分あるいは、つながりを考えるうえで他の方法があるのであれば、その事務事業自体を見直すことを財政レポート上で明らかにすることは、かなり有用な公会計の活用として捉えることができます。</p>
B委員	<p>今のことに関連して、いわゆるロジックのつながり等まで踏み込んで取組む団体はなかなかないといった提案内容でしたが、財政レポートは、第三回定例会に向けて提出しているため、決算統計の作業を行い、実質、7月、8月の1カ月半ぐらいの間に仕上げなければならないという実態があります。今の提案は、締め切りの期日までに現実的に遂行できるのでしょうか。</p>
A事業者ア	<p>ご指摘の通り、かなり時間のかかる作業です。やるとすると、注目度の高い事業をしぼって、2、3件抽出して試しにロジックを組んでみるという方法が考えられます。時間がかかりますので、前年度から準備を進めて予めロジックを組んでおき、それをあてはめてみて、公表できるものかを見極めて出すということであれば、現実的にできないことではないと考えています。</p>
B委員	<p>最後の質問ですが、さきほど決算統計について国の見直しの話がありましたが、区では、6月の1カ月間に集中的な作業をしている現状で、やっている内容を考えるとA Iを活用すれば、もしかしたら瞬間的にできる作業ではないかと感じることがあります。何かその辺でご提案があればお願いします。</p>
A事業者ア	<p>決算統計については、国からの受託業務としてご相談を受けている状況です。具体的には、各自治体がエクセルで調査表を作成し、アップロードしているものを、データベースに入力すれば、千円単位の丸めやA Iを活用した人件費の按分などを行い、自動的に調査表を作成してアップロードするようなことを検討しています。ただ、いかに工夫しても、まずは自治体の予算の設定が、決算統計が求めている情報とあまりにも相違があると、そういったツールを用意しても、なかなかうまくいかず、大変な面があるようです。強</p>

【会議録】

	<p>制力はないものの、ある程度このような枠組みで予算の設定を変えていったらどうか、といったところは国の思いとしてはもっているようです。その点の情報を国から聞き出しつつ、予算が変えられないのであれば、財務会計の備考欄や登録情報欄にうまくコメントを入れることによって、後日、決算統計で集計するときその項目ワード等で検索するとうまく集計できるように工夫します。そういったかたちで、少し、公会計とはずれるかもしれませんが、いかようにも効率化の部分で考えられると思います。</p>
A委員	<p>先進団体の事例として、行政評価の結果をふまえてとありますが、どのような部分をふまえればよいとお考えですか。</p>
A事業者イ	<p>数値以外の非財務情報で、例えば、事業者数、満足度などを組み合わせると、よりその数値が表す意味合いがわかりますので、このようなものも活用しながら進めていくことを考えています。</p>
A委員	<p>様式8にも関連しますが、公共施設マネジメントについてはどういった視点で公会計の活用ができるのか教えてください。</p>
A事業者ア	<p>よく使われているのが、公共施設の個別施設計画です。各施設の更新フローなどの計算にあたって、固定資産台帳のデータをもとに、いつ頃にこれだけコストがかかるといった将来推計に使っています。直近3年ぐらいでも建築単価が倍以上といった状況もありますので、建物をこのまま維持するのかの判断材料として、一方で、個別施設計画等を公表するうえでの根拠などにも使われています。</p>
A委員	<p>数値の試算をするにあたって、御社の場合は多くの人員を投入して業務にあたるのか、それともシステムティックなものを組んで、職員が入力すると答えが出るような仕組みを構築するのか、どちらのイメージですか。</p>
A事業者ア	<p>2通りありまして、システムに入れこむと解決するような仕組みを今、進めているところです。1点課題として、全団体に使えるものを想定すると細かい情報を設定することになり、かなり複雑なロジックになってしまいます。簡易的な計算での自動計算を想定していますので、それぞれの団体様に本当に役立つ将来推計になるようにエクセルで我々の知見に基づいてツールを作成しているので、それに基づいてロジックを組んでいます。</p>
A委員	<p>様式9の職員の啓発研修について、仕訳ゲームというものに大きく関心を持ちましたが、これは、知見のない職員が抵抗なく始められて、知識がつく仕組みになっていますか。</p>
A事業者ア	<p>おっしゃるとおりです。導入の段階で借方貸方を説明して最低限のルールを覚えていただいたあとに、本題として現金で車を購入するという想定で、付箋を使って、ゲーム感覚で貸借対照表、行政コスト計算書等の仕訳からどのように財務処理ができるのかなど具体的にイメージしていただき、効果的に</p>

【会議録】

	<p>短時間で知識が身につく仕組みになっています。</p> <p>～A 事業者退場、委員審査～ (採点表回収 事務局集計)</p> <p>【3 第一次及び第二次審査結果に基づく総合評価による事業候補者の決定について】</p>
委員長 事務局	<p>集計結果について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>集計結果について説明します。集計した結果、第二次審査の評価点について、A 事業者は 525 点満点中 417 点、第一次審査と合わせた総合評価は、A 事業者は 1,625 点満点中 1,272 点です。</p>
委員長 B委員	<p>～各委員講評～</p> <p>各委員より、審査について評価したポイント、講評等をお願いします。</p> <p>今回のプレゼンの内容を聞きまして、港区財政レポートについて個々に分析して改善案を提案していました。また、短期間でも策定できるのかという視点でも、ある程度の道筋はできていると感じました。その他、仕訳ゲームなど興味深い研修も行っており、事業候補者としての資質は十分備えていると評価しました。</p>
A委員	<p>行政評価、公共マネジメントの視点で見ると、公会計制度の中での知見を活かして、様々な取り組みを行っていると感じました。評価の妥当性や適正な数値の検証など、今まで議論には出ても、自分の所管ではアイデアが出なかったところなので、そういった部分で期待を持てますし、実現性が高そうだなと感じました。</p>
E委員	<p>事前準備を相当してきているようで、回答が明確でした。そういった点からも強い意欲を感じました。国の情報を含め、公会計に関する豊かな情報、知識をもっているところが確認できましたので、これから出てくる様々な課題にも対応していけると感じました。</p>
D委員	<p>よりわかりやすい財政レポートへの提案や、行政評価、事務事業評価との連動など、具体的な例を挙げながらの提案が評価に値すると感じました。受け答えについても丁寧で、誠実に業務に取り組んでくれるのではないかと期待感をもたせる内容でした。</p>
C委員	<p>具体的な提案といっても定型的にもっているもので対応していく印象を受けました。一方で、財政レポートについては、区の立場に立った提案があったと思います。しかし、公共マネジメントシステムに関する部分は連動させている対象が形骸化していると感じました。しかし、業務を無難にこなして</p>

【会議録】

委員長	<p>くれそうで、ある意味、安定的に業務を任せられそうだと思います。そして、国の情報、改革を進めていることには実際に関わっている事業者なので、そういう意味では情報通というところもあり、財政レポートにエビデンスと連動させて実証できることも評価できます。</p>
委員長	<p>それでは、審査結果・評価表を確定することとし、各委員のご意見を総括して、当委員会としては、A 事業者を事業候補者として、選考することとしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
委員長	<p>ご異議ありませんでしたので、A 事業者を事業候補者として選考します。</p> <p>【3 その他】</p> <p>【4 閉会】</p>